国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令和５年２月１６日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要を公表します
（第一部会 第２回定例会議）

令和５年１月１７日（火）に東北地方整備局において「令和４年度入札監視委員会（第一部会第２回定例会議）」を開催しました。

審議概要について別紙のとおりお知らせします。

なお、今回の委員会では、事前に抽出された案件９件の審議を行い、意見の具申や勧告事項はありませんでした。

〔発表記者会〕宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【問合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局
仙台市青葉区本町３丁目３番１号
ＴＥＬ　０２２－２２５－２１７１（代表）
入札契約監査官　　高橋　忠　（内線：２２２０）

別 紙

東北地方整備局　入札監視委員会（第一部会）　審議概要

開催日及び場所	令和５年１月１７日（火）　東北地方整備局　大会議室		
委員	部会長　西村　　修　【(国) 東北大学 大学院 工学研究科 教授】 部会長代理　赤石　雅英　【公認会計士、税理士】 委　員　及川　雄介　【弁護士】 委　員　嘉藤　明美　【(株) 鐘崎　代表取締役社長】		
審議対象期間	令和４年４月１日　～　令和４年９月３０日		
審議案件	総件数　９件　（別紙－１　審議案件一覧のとおり）		
工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	１件	（備考） (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 (6) 一者応札の発生状況 (7) 不調・不落の発生状況 (8) 高落札率の発生状況 について報告を行った。
工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	４件	
工事	工事希望型競争入札	０件	
工事	指名競争入札	０件	
工事	随意契約	１件	
建設コンサルタント業務等		２件	
役務の提供等及び物品製造等		１件	
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙－２のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	別紙－３のとおり		

別紙－1

抽 出 指 定 工 事 等 一 覧

（第2回定例会議：令和5年1月17日（火））

○ 抽出対象期間：令和4年4月 1日 ～ 令和4年 9月30日

○ 抽出委員名等：西村委員 令和4年11月10日（木）抽出

工事に係る入札方式別抽出案件一覧　　総契約件数・・・・377件

（1）一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）

番号	工 事 名	工 事 種 別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
①	仙台合同庁舎A棟その他（22）電気設備改修工事	電気設備工事	3	3	R4.8.18	東光電気工業（株）	1,268,630	93.7	営繕部

（2）一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの）

番号	工 事 名	工 事 種 別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
②	国道7号　今泉第一トンネル外舗装工事	セメント・コンクリート舗装工事	11	11	R4.8.1	日本道路（株）	550,440	92.5	能代
③	月山国道管内区画線工事	塗装工事	1	1	R4.6.16	新和産業（株）	29,139	97.1	酒田
④	郡山国道管内植栽維持工事	造園工事	1	1	R4.5.24	赤井田造園土木（株）	46,200	94.2	郡山国道
⑤	湯田ダム浸水被害軽減対策工事（その2）	一般土木工事	20	20	R4.4.21	板谷建設（株）	416,900	90.8	北上川統管

（5）随意契約方式

番号	工 事 名	工 事 種 別			契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
⑥	国道399号　伊達橋災害応急復旧工事	橋梁補修工事			R4.9.5	三井住友建設鉄構エンジニアリング（株）	121,220	99.9	福島

建設コンサルタント業務等に係る抽出案件一覧　　総契約件数・・・・902件

（1）一般競争入札方式

番号	業 務 名	業 種 区 分	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
⑦	高瀬川・小川原湖水辺現地調査（陸上昆虫類）業務	土木関係建設コンサルタント業務	7	7	R4.4.21	応用地質（株）	18,843	80.3	高瀬川

（6）簡易公募型プロポーザル方式

番号	業 務 名	業 種 区 分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
⑧	鳴瀬川ダムダムサイト地質解析業務	土木関係建設コンサルタント業務	1	1	R4.8.31	日本工営（株）	60,577	99.6	鳴瀬川工事

役務の提供等及び物品の製造等に係る抽出案件一覧　総契約件数・・・・605件

（1）一般競争入札方式

番号	業 務 名	業 務 分 類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契 約 金 額（単位：千円）	落 札 率（単位：%）	備　考
⑨	最上川中流ゲート設備点検整備業務	役務の提供等	1	1	R4.4.1	東北電機鉄工（株）	16,830	99.4	新庄

別紙－２

１．報告	
意見・質問	説明・回答
・なし	

２．審議	
意見・質問	説明・回答
１．仙台合同庁舎Ａ棟その他（２２）電気設備改修工事	
・技術提案のテーマにある生産性の向上とは具体的にはどのようなものか。	・例えばＩＣＴ技術を活用することで作業員の施工の手間を減らすというようなものが挙げられます。
・技術提案型においては、例えば１５年とか２０年と期間を定め、新しい技術の活用等により期間内のランニングコストが大幅に節減されるような提案を求めるのが重要と考えるがどうか。	・設計の段階で環境プロポーザルによりランニングコストを下げる提案をいただき設計図面に盛り込んでおります。本工事においては確定した設計図面を基に、どのように工事を施工するかという観点から技術提案を求めました。
・施工する側の生産性の向上が加点事由になるということだが発注者側のメリットはどこにあるのか。	・最近は働き方改革、長時間労働是正、担い手確保ということがあり、生産性が向上し効率化することが作業環境の改善や工期短縮による労働環境の改善につながり、さらに安全性の向上にも寄与するということで、技術提案をいただく工事では標準的なテーマにしております。
２．国道７号今泉第一トンネル外舗装工事	
・なし	－
３．月山国道管内区画線工事	
・４者申請があって３者が辞退しているが、今後同様の工事があって同じ４者が参加した場合に同じことが起きないか注視願いたい。	・ご意見について承りました。

４．郡山国道管内植栽維持工事	
・１者申請で１者応札だが、植栽は伸びてくる季節があるので発注時期が集中してしまう。もっと入札参加資格を広げることは考えなかったのか。 ・賃上げの実施に関する評価で点数の欄が横棒「－」で表示されているが、これは評価しなかったということか。	・地域に密着した工事内容なので地元の業者に頑張ってもらうため今回の地域要件を設定しましたが、今後は業者にもヒアリングしながら参加要件を広げることも検討していかなければならないと考えております。 ・この業者が賃上げする意思を示さなかったため評価の対象にならなかったということです。
５．湯田ダム浸水被害軽減対策工事（その２）	
・入札価格が３者が同価格で、加算点の差により落札者が決定しているが、評価においてどのような.点で差が生じたのか。 ・技術者の能力等が一番高く評価された会社が落札しており、価格の競争というより技術者の優秀さが評価されて落札につながったという意味で適切な入札がなされたという理解でよいか。 ・約４億の大きな工事だが入札金額が皆近いところにある。こういった工事は積算の予測がつきやすいものなのか。 ・これだけ価格が近いと逆に一般競争することのメリットがないのではないか。誰がやっても同じなら別の観点からもっと工夫が必要なのではないか。	・過去の工事における技術者の工事成績の違いや表彰の実績などにおいて他社より優位だったことによります。 ・そういうことです。 ・本工事は掘削してそれを盛土するという単純な工事内容であり標準歩掛も公表されているので積算しやすい工事だと思います。 ・本工事は施工しやすく利益が出やすい工事であり調査基準価格の算定式も公表されているので、各業者が調査基準価格にかなり近い価格での入札になりましたが、企業の実績、成績表彰、技術者の資格、成績、表彰実績などの技術点を併せた総合評価をしております。
６．国道３９９号　伊達橋災害応急復旧工事	
・応急復旧のための随意契約は問題ないと考えるが、契約の相手方としてはこの橋を施工した業者に聞いてみるのが筋ではないかと思うがどうか。 ・橋を設置した業者に聞かなかったのはこの橋の設置が特別な技術を要するものではなく一般的なレベルのものだからか。	・支承が全て被災し上部工部材の変形も生じており、落橋の恐れもあることから、復旧にあたっては高度な技術力、必要な資材を有している専門業者での施工が必要であるため、日本橋梁建設協会へ要請を行ったところです。ご指摘のとおり施工した業者に聞くのも一つの選択肢だと思うが、今回は協会へ照会させていただきました。 ・一般的な工事だとは言えないが、今回は協会へ照会させていただいたということです。

７．高瀬川・小川原湖水辺現地調査（陸上昆虫類）業務	
・昆虫類の調査と言うことだが、河川の水量とか生態系は国が管理しないと望まれる成果は得られないと考える。国は県や市町村からの問い合わせにも柔軟に対応できる体制になっているのか。	・自治体とは普段から工事の進捗状況や環境に関する情報交換を行っており、何かあれば自治体から相談を受ける体制はできております。
８．鳴瀬川ダムダムサイト地質解析業務	
・応募が１者で落札率が９９．６％だが、この調査の緊急性はどの程度か。緊急性があれば別だがそれほどでなければ応募をやり直すということも検討されてはいかがか。	・本業務は標準歩掛がなく特定者からの見積もりにより予定価格を算出しているため落札率が高くなっております。また本業務はボーリング調査の結果を総括してすぐに次の調査を行う必要があるため、できるだけ早く着手する必要があります。なお、今回は前調査等の影響等で発注時期が遅くなってしまったので、今後は発注時期を前倒しできるような工夫を検討していきたいと考えています。
・この業者は全国展開しているが、他の整備局のダムの地質解析業務の状況はどうなっているのか。全国で１者の独占状態になっているのではないか心配である。	・全国のダムの状況全ては把握していないが、東北管内の他のダムでも本業者以外の業者の解析業務の実績がありますし、当事務所でも過去の解析業務では他社が提案したこともありますので、引き続き参加しやすいような要件にするよう努力していきたいと考えております。
９．最上川中流ゲート設備点検整備業務	
・この業務の実施が可能と考えられる業者は何者程度見込んでいたか。	・７１者程度を想定しておりました。
・入札参加者が１者だが業者が手を挙げたくないような業務なのか。この業者はいつからこの業務を継続して請け負っているのか。	・地域要件を広げるなどの取組をしておりますが、他の業者から話を聞いたところ、点検箇所が多く点検の頻度も多いので、人数を揃えて新規で参加するのはハードルが高いということでした。平成２９年度以降、ここ６年はこの業者１者になっております。
・本業務は結果的に独占になっているので、こういう独占業務については年数を限定し、例えば５年なら５年と定めて、それ以降は入札参加資格なしとすることも方法としてあってよいのではないか。	・ご意見として承ります。

別紙－３

３．委員会による意見の具申又は勧告内容

意見の具申及び勧告を行う事項はない。

ただし、今後の入札・契約手続等について意見・要望等があるのでお伝えする。

技術提案評価型の評価項目について、その意図を明確に示されるよう、また、結果として、どのように評価されたのか、透明性を高めるよう合理的な措置を検討していただきたい。

【当局からのコメント】
本日は長時間にわたりご熱心にご審議をいただき、誠にありがとうございました。

部会長並びに委員の皆様から頂戴しましたご意見、ご要望につきましては、今後の入札・契約事務の参考とし、さらなる透明性・競争性の確保に努めて参りたいと思います。

今後とも引き続きご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。